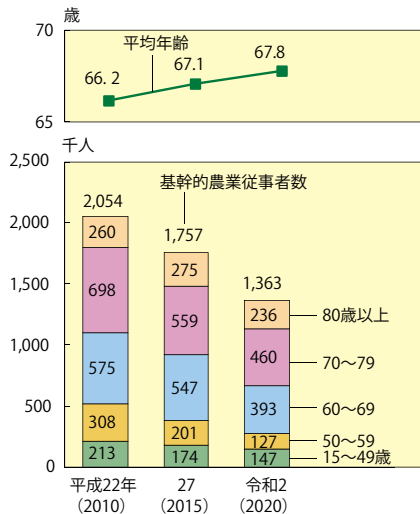


▼農業・農村の現状について

基幹的農業従事者数と平均年齢

基幹的農業従事者の平均年齢は上昇傾向にあり、令和2年には67.8歳となっています。一方、基幹的農業従事者数は年々減少しており、同2年には136万3千人となっています。



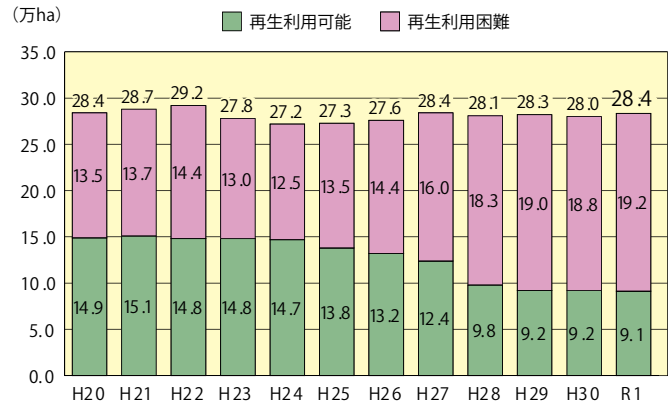
資料：農林水産省「2020 年農林業センサス」、「2015 年農林業センサス」（組替集計）、「2010 年世界農林業センサス」（組替集計）

注1：「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

2：各年2月1日時点

荒廃農地面積の推移

荒廃農地の面積は、令和元年には28.4万haであり、そのうち再生利用困難なものが19万2千ha（67.6%）と近年増加傾向になっています。



資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

注1：「荒廃農地」とは、「現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地」。

2：「再生利用が可能な荒廃農地」とは、「抜根、整地、区画整理、客土等により再生することにより、通常の農作業による耕作が可能となると見込まれる荒廃農地」。

3：「再生利用が困難と見込まれる荒廃農地」とは、「森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難なもの、又は周囲の状況から見て、その土地を農地として復元しても継続して利用することができないと見込まれるものに相当する荒廃農地」。

4：四捨五入の関係で計が一致しない。

▼未来の農業のためにできること

農業・農村の多面的機能の維持・発揮を目的に

農村地域の高齢化、人口の減少などで、農業生産に伴う地域の共同活動などにより支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。このため、平成26年度から農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対する支援制度「日本型直接支払制度」が始まりました。

～日本型直接支払制度～

多面的機能支払交付金

【農地維持支払】

農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える共同活動を支援します。

【資源向上支払】

地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動や、施設の長寿命化のための活動を支援します。



水路の泥上げ

中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や機械・農作業の共同化等、農業生産活動を将来に向けて維持するための活動を支援します。

環境保全型農業直接支払交付金

農業者等が実施する化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みとセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援します。

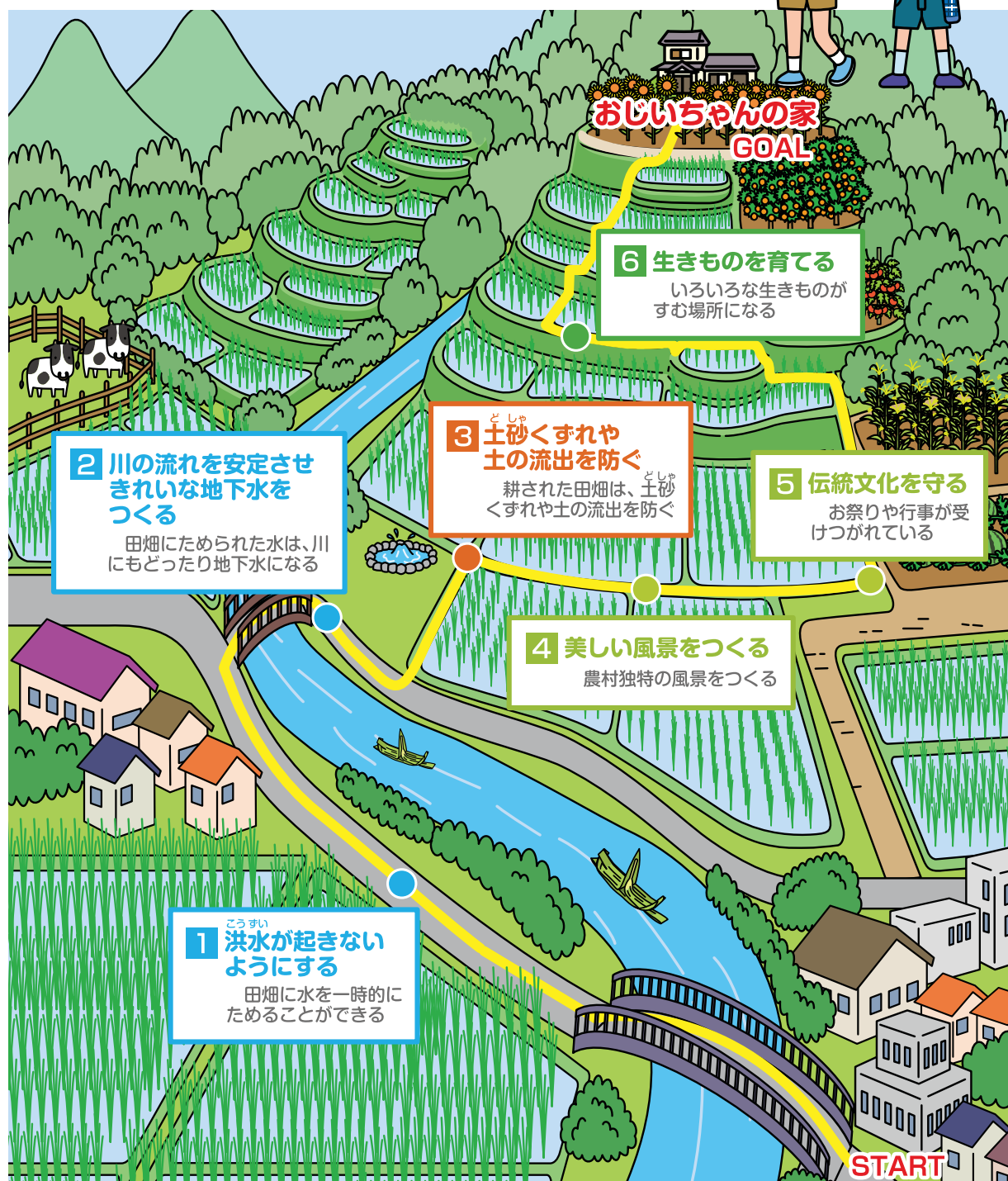


植栽活動

まとめ

農業・農村には
いろいろな働きが
あることが分かったね

自由研究
が完成！



農業・農村のいろいろな働き





ほかにも
あったよ!

農業・農村の いろいろな働き



○暑さをやわらげる働き



田の水面からの水分の蒸発^{しょうはつ}や、作物から出る水分によって、空気が冷やされます。この冷やされた空気は周辺市街地の気温が上がるのをおさえる効果もあります。



○有機物を分解する働き



田畑の土の中にいる微生物^{ひせいぶつ}は、家畜^{かちく}の排泄物^{はい}や野菜のくずなどから作ったたい肥(有機物)を分解し、作物が養分として利用しやすい形に変えます。



○いやしや安らぎをもたらす働き

農村のきれいな空気や水、美しい緑、四季の変化などが安心とやすらぎをあたえ、心と体をリフレッシュさせます。



○医療・介護・福祉の場としての働き

緑豊かな農村で、土や自然にふれ農作業を行うことは、高れい者やしょうがい者の機能回復などに役立っています。



○体験学習や教育の場としての働き



農村で動植物や豊かな自然にふれることで、生命の大切さや食料のめぐみに感謝する心が育まれます。

田畑は、
いろいろな働きを
持っているんじゃ



どの働きも、田畑で作物を作ることによって力を発揮^{はつき}するんだ！
これからも大切にしたいよね。

農業・農村のいろいろな働きは、農業を営むことによってその力を発揮^{はつき}します。私たちの暮らしを守り豊かにしてくれるこれらの機能は、お金では買うことのできない日本の財産です。この財産を守るためには、農業を続けていくことが必要です。

農業を続けていくためには、農地を良好に管理することが、とても大切です。



水路のそうじ

参考になるサイト

た めんてき き のう
農業・農村の多面的機能



発行 平成30年9月



業務委託

株式会社マイファーム
農地を活用する技術などを提供

「みらい農業学校」

2024年4月開校

全国から一期生 20代～50代まで 15人

南相馬市には、これからの時代を見据えた多様な農業の姿があります。

そして、みらいの農業を想う人々が集い、学び合う場所があります。みらい農業学校は、あなたのチャレンジを待っています。

point
01

全日制の超実践型カリキュラム



先端技術から経営知識まで、雇用就農後に即戦力となるノウハウを厳選して習得。どんな農業にでも活用できる農業の原理原則に加え、これからの農業に必要な学びを実践。

point
02

広範なネットワークの活用



地域の農業生産法人やJA、メーカー等関係者との確かなネットワークができるほか、多様なカリキュラムを形成する業界トップの講師陣と繋がることで、卒業後の進路やキャリアに活かれます。

point
03

学びの環境徹底サポート制度



南相馬市の充実した支援（移住・生活・子育て等）を活用できるので安心です。また、卒業後も学び続けられる環境が整っています。



専任講師からの指導の下
野菜の栽培方法や機械の操作
など先端技術の基礎的な知識や
経営に必要なノウハウなどを
一年間で習得する

特徴は、卒業後に市内の農業法人に就職することを前提とした雇用就農に特化しており 24 年度卒業生の 5 割の進路先が市内の農業法人となっている

学びの施設 = 旧鳩原幼稚園※国の事業を活用して改修
圃場も近い所を確保